

令和3年度 第3回名桜大学FD 研修会実施計画

- 1 目的：令和2（2020）年1月22日、中央教育審議会大学分科会は「教学マネジメント指針」を発表した。これは教学マネジメントがシステムとして確立するための大学運営の在り方を示した指針であり、①学修目標の具体化、②授業科目・教育課程の編成・実施、③学修成果・教育成果の可視化、④FD・SDの高度化、⑤教学IR体制の確立、⑥情報公表の一連の取り組みからなる。本研修会は、わが国の大学教育の質保証のシステムをどう担保するか、その仕組みをどう構築するかという問いに対して、本学が取り組んできた「年次報告書」と「教員の自己点検評価シート」の望ましい在り方について相互理解することを目的とし実施する。
- 2 開催日時：令和3年11月29日（月）15:00～16:30（受付開始14:45）
- 3 会場：Teamsオンライン（演者・ファシリテーターはSAKURAUM大講義室A集合）
- 4 対象：本学専任教員
- 5 テーマ：令和2年度評価に基づく改善について
- 6 プログラム

時 間	内 容
事前調査 11月15日～19日	全教員に対し次のことを調査する（GoogleForm） ○「大学教育の質保証」についての理解度チェック（5問程度） ○「年次報告書」に基づく改善を妨げる課題について（自由記述） ○「教員の自己点検評価シート」に基づく改善を妨げる課題について（自由記述）
11月29日（月） 14:45～15:00（15分）	受 付
15:00～15:05 （5分）	開会のあいさつ 【司会：フィウエル ノーマンFD委員】 副学長 鈴木 啓子
15:05～16:15 （70分）	① 令和2年度評価に基づく改善について（20分） 国際学群「年次報告書」に基づく改善・・・仲尾次 洋子 国際学群長 人間健康学部「年次報告書」に基づく改善・・・奥本 正 人間健康学部長 ② 事前調査の結果と解説（10分）・・・木村堅一FD委員長 ③ グループワーク（40分）・・・全員 テーマ：「年次報告書」「教員の自己点検評価シート」に基づく改善について ファシリテーターはFD委員とし、8グループを構成する。事前調査で出された 「年次報告書」「教員の自己点検評価シート」の課題を理解した上で、その課題を 解決し、教育の質保証を効果的に行う方法についてディスカッションする。 ファシリテーター：仲尾次洋子（国際学群長）、奥本正（人間健康学部長）、小番達（リ ベラルアーツ機構長、FD委員）、宮平栄治（FD委員）、柳銀珠（FD委員）、山本健司 （FD委員）、松下聖子（FD委員）、木村堅一（FD委員長）
16:15～16:25 （10分）	アンケート記入時間 ※GoogleForm でグループワークで議論した内容を報告してもらい、即時、全参加者へフィードバックする。
16:25～16:30 （5分）	閉会のあいさつ 副学長 鈴木 啓子
16:30	終了
総評：執筆者（報告書）	木村 堅一 FD委員長

